《 第三期倉敷市子ども・子育て支援事業計画 》

第二次くらしきこども未来プラン

実施計画 2025

令和7年7月

1 実施計画の策定にあたって

- (1) 計画策定の趣旨
- (2) 計画の期間
- (3) 計画の性格
- (4) 計画の見直し

2 実施計画シート（事業一覧）

- (1) こども・若者
- (2) 子育て
- (3) 地域・社会

3 評価指標一覧（目標値と実績値）

4 主要事業の「量の見込み」と「確保方策」

1 実施計画の策定にあたって

(1) 計画策定の趣旨

令和7年3月に、『第二次くらしきこども未来プラン』（第三期倉敷市子ども・子育て支援事業計画）』（計画期間：令和7～11年度、以下「プラン」という。）を策定しました。このプランのもと、**すべてのこどもが幸せに暮らせるよう**、この実施計画では、プランの39の「単位施策」（市の取組）に基づく具体的な事業をまとめました。しっかりと施策・事業を進め、実のある成果をあげていきます。

なお、事業については、実りある成果とするための主要なものを盛り込んでいます。

(2) 計画の期間

この実施計画は、4か年を計画期間としています。また、令和3年3月に策定した「倉敷市第七次総合計画実施計画」等と整合を図った内容としております。

なお、記載している内容は、令和7年6月現在の情報で示しています。

(3) 計画の性格

この実施計画は、毎年度の予算編成と事業執行にあたり、総合性と実効性を確保していくための指針となります。

(4) 計画の見直し

プランの実施にあたっては、今後の社会経済状況や市民の行政需要、財政状況などの変化に適切に対応しながら進行管理を行い、計画の実効性と弾力性を確保する必要があります。そして、プランの達成度は、毎年、「こども・若者」「子育て」「地域・社会」の柱ごとに設定されている評価指標の実績値を把握し、目標値と比較することで測定していきます。

したがって、この実施計画は、プランとは別冊とし、毎年、毎年度の進捗状況を踏まえて、改訂をまいります。

2 実施計画シート

1. 施策の体系

基本理念「すべての子どもが幸せに暮らせるまち」に基づく施策について、3つの柱からなる体系を次のとおり整理します。

柱	施策領域と施策目標	単位施策
こども・若者	◆人権尊重 すべての子どもが守られ、その子らしさを尊重されている	1：こどもの人権についての教育・啓発を推進する
		2：学校園等における人権教育を推進する
		3：児童虐待等の人権侵害の予防と早期対応を充実させる
	◆母子保健・医療 妊娠・出産の安心が保たれ、こどもが健やかに育っている	4：母子の健康の確保・増進を図る
		5：こどもの発達段階に応じた食育を推進する
		6：地域保健・小児救急医療体制を充実させる
	◆就学前教育・保育 こどもが、その子に必要な就学前教育・保育を受けている	7：就学前教育・保育実践の改善・向上を図る
		8：就学前教育・保育施設におけるこどもの健康や安全を確保する
		9：就学前教育・保育基盤を強化する
	◆生きる力 こども・若者が豊かな個性と創造力を伸ばし、「生きる力」を育み、将来を拓く力を身につけている	10：学校教育の環境や学習内容を充実させる
		11：様々な体験や活動を通じて学ぶ場、機会を充実させる
		12：思春期保健対策や相談体制を充実させる
		13：こどもの貧困状態が改善され、将来も貧困状態にならないよう、切れ目なく支援する
		14：困難を有するこども・若者やその家族を支援する
	15：こども・若者の将来を拓く力を応援する	

柱	施策領域と施策目標	単位施策
子育て	◆家庭・家族 家族みんなで協力し、子育てを楽しんでいる	16：男女平等と共同参画を推進する
		17：男性の育児参加を促進する
		18：こどもと一緒に楽しめる機会を充実させる
	◆親育ち 親が自己肯定感を持ちながらこどもと向き合い、育ちあっている	19：親子や親同士の交流、子育ての仲間づくりを促進する
		20：子育ての相談体制を充実させる
		21：子育てに関する情報発信を充実させる
	◆子育て支援 身近な地域で、地域性を生かした子育て支援を行っている	22：地域の子育て支援拠点を充実させる
		23：安心してこどもが生活できる場所を確保する
		24：子育ての支え合いのしくみを充実させる
	◆安心・ゆとり 総合的な支援により、すべての家庭が安心とゆとりをもって子育てをしている	25：ひとり親家庭への支援を充実させる
		26：障がいのあるこどもと、その家族に対する生活支援を充実させる
		27：子育てに伴う経済的負担を軽減する
28：様々な困難を抱える家庭の生活課題に着目し、寄り添う支援をする		

柱	施策領域と施策目標	単位施策
地域・社会	◆地域連携 地域コミュニティに強い絆とネットワークがあり、こども・若者が大切にされ、子育てがまち全体から応援されている	29：子育てボランティアを育成するとともに、組織づくりと活動を支援する
		30：地域と学校・大学との連携を進める
		31：お互いのつながりを強め、地域の子育て力を高める
	◆就労環境 子育てを応援する職場が増え、子育てと仕事を両立できる環境が整っている	32：福祉や教育、地域が協働し、困難を抱える家庭を支える体制づくりを促進する
		33：地域とともに青少年の健全育成を進める
		34：育児休業制度などの利用を促進する
	◆安全環境 こどもやこども連れの人にとって、安全で住みやすいまちとなっている	35：子育てしやすい職場環境づくりを促進する
		36：出産・育児後の再就職の支援を充実させる
		37：バリアフリー・ユニバーサルデザインを推進する
38：こどもの事故防止対策を充実させる		
39：こどもを犯罪等から守るための活動を推進する		

3 評価指標一覧（目標値と実績値）

※実績値が揃い次第、作成します。

4 主要事業の「量の見込み」と「確保方策」

※実績値が揃い次第、作成します。